

# まだ、再開発しますか？

大田区にも、少子高齢化、人口減少が確実に訪れます。これまで、多くの地域で進められてきている事業者任せの大規模再開発でなく、むしろ低層で緑地やオープンスペースの確保された住み続けられるまちを描きませんか。国際都市を標榜するよりは、緑と水辺空間を活用した田園都市をめざすことによって自然災害を減ずることが可能になります。開発志向が自然災害を生んだ過去を見直し、自然や緑の豊かなまちを考えてみましょう。



交番の取り壊し工事中

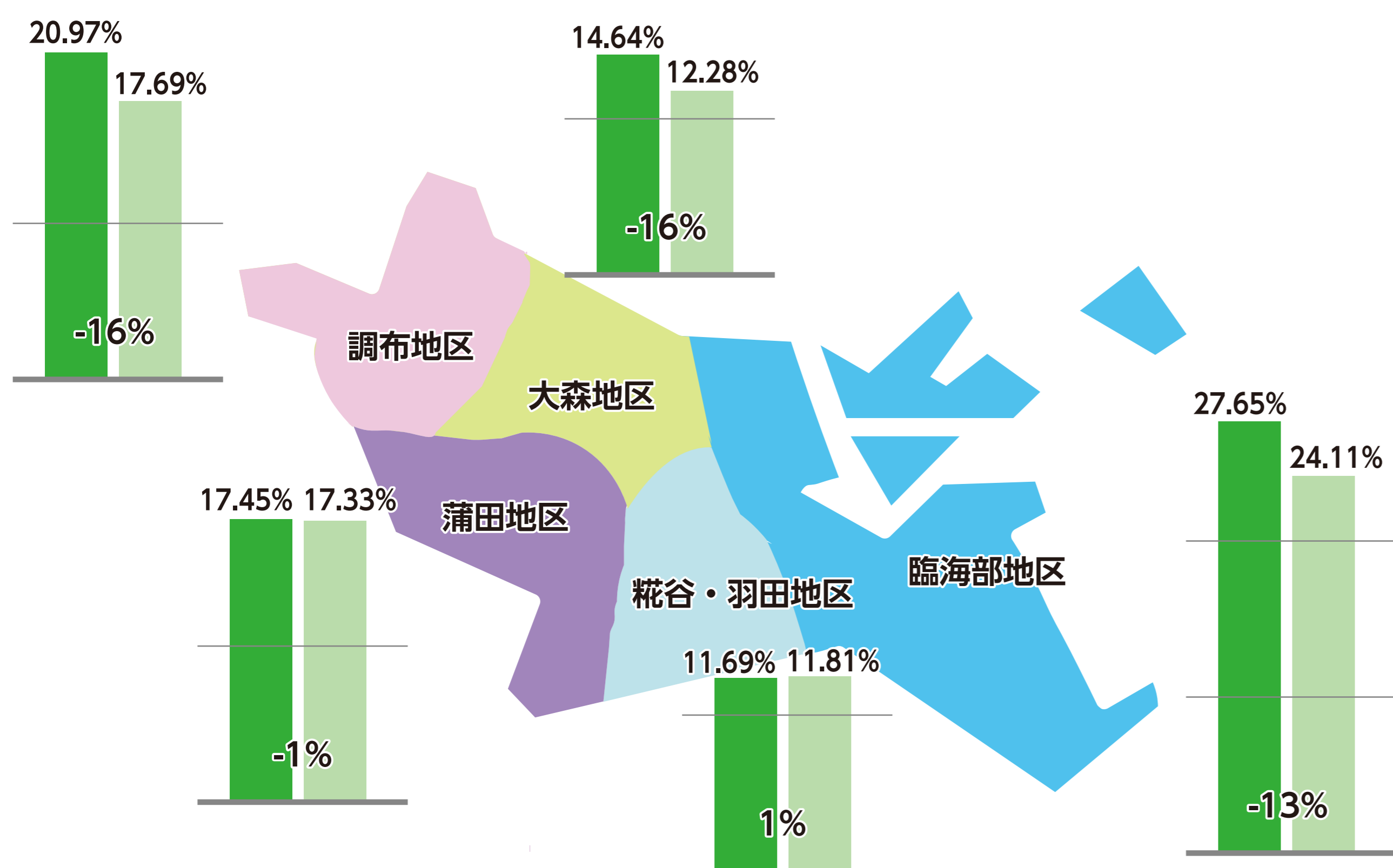


池上駅舎改札は2階に

## 都市計画での再開発ってなんだろう？

- ・ 経済効果と言われるが、事業者の利益優先になっていないか？
- ・ 防災耐震建築と言われるが、人が集まることで高密度になり、むしろ災害リスクは増大する！

### 再開発名目の事業で、結果として緑地が減少している！



10年間で緑はどう変わった？  
- 緑被率を比較 -

■ 平成 21 年  
■ 平成 30 年

	平成 21 年緑被率	平成 30 年緑被率	増減率 (%)
大森地区	14.64	12.28	-16%
調布地区	20.97	17.69	-16%
蒲田地区	17.45	17.33	-1%
糎谷・羽田地区	11.69	11.81	1%
臨海部地区	27.65	24.11	-13%
大田区全体	20.47	18.32	-11%

チェックしてみてね！

公園の広さは世界の都市ではどうなってるの？  
下にあるQRコードあるいはURLで！

## 団体紹介

## 住むコトの紹介

私たちは「大田区を住みよくするには何が出来るか」をテーマに勉強会を始めて2年、毎月1回集まり都市計画や建築関連法の課題、再開発などについて意見交換をしています。

東京都の1人当り緑地面積は、世界主要30都市で25位、大田区は都内12位で多摩川河川敷を除くと公園など極めて少なく、積極的に緑地を増やす必要を感じております。

また再開発の事例については、品川区東大井・葛飾区立石・港区泉岳寺の関係者を例会に招いてお話を聞きました。大田区のいくつかの再開発計画が、今後の人口減少なども勘案し、住民や利用者のニーズに見合っているのか、大田区の将来を皆さんと一緒に考えたいと思います。

団体名：住むコト

URL： <https://thinksumucoto.wixsite.com/sumucoto>

